

船用エンジンの課題や 将来を見据えた動向について

～ 2018 内燃機専門部会国土交通省海事局へ ～ 質問・要請行動

業種別 内燃機専門部会は2018年7月27日に東京・参議院議員会館で、JAMものづくり国会議員懇談会副幹事長である森本真治参議院議員を通じ、船用エンジンの抱える課題や問題点、将来的な展望などについて、国土交通省海事局へ質問・要請を行いました。

主な内容は、第一に、船用ディーゼルエンジンから排出される排気ガスの多角的な規制に対する課題は多くあり、燃料性状から改善する対策の低硫黄燃料に関する点について、石油業界の動向を情報提供いただきました。

また、排出規制やブラックカーボンの問題や動向、液化天然ガス(LNG)を燃料とするエンジン開発・普及に向けた、状況認識や情報共有と今後の展望について。

第二に、市場である船舶船用業界の活性化の為に次世代育成問題に関する国の取り組み内容や展望。

第三に、要請事項として騒音規制緩和や、長年の技術向上による検査時における確認事項等の省略・省力化の要請を行いました。

国土交通省の考え方について、詳細で丁寧な説明を受け、要請事項については対応をしていただけるとの前向きな回答がありました。



右からJAM内燃機専門部会・祖開主査(阪神内燃機労組)、宮森議長(ジャパンエンジン労組)。国交省海事局・峰本舟艇室長、塩入安全政策課課長補佐。



要請行動冒頭にJAM内燃機専門部会の状況説明をする、宮森議長(ジャパンエンジン労組・右2人目)。

国土交通大臣
石井 啓一 殿

2018年7月27日

JAM
会長 安河内 賢弘
JAM内燃機専門部会
議長 宮森 洋二

質問・要請書

拝啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

私たちの働く内燃機業界は長年にわたり国内外の物流はもとより海運・造船業界の発展のため誠心誠意取り組んできました。その貢献度は、決して少なくないと自負しています。

国内経済は、長期にわたる景気回復により、労働市場では人手不足感が高まって、需給が引き締まる方向にあります。求人数の増加による労働需要の高まりにもかかわらず、労働需給のミスマッチが生じ、企業は必ずしも必要な人材を確保できていない状況です。

また、緩和的な金融環境や成長期待の高まり、オリンピック関連需要等の本格化による緩やかな経済回復が予測されるものの、震災復興や電力問題等、問題は山積しています。また、業界として長らく続いたデフレスパイラルの影響は未だ残っており、私達の業界を取り巻く環境は、今後も厳しい状況が続くと予想されます。

このような状況の中に於いても、環境を配慮した地球にやさしいディーゼルエンジンの開発や、低燃費・低振動エンジン開発など、様々な世界をリードするために更なる研究・技術力向上へ向けた取り組みなど、我々に課せられたものは数多くあります。

労働組合は、コスト競争力のために労働条件の改善保留や生産への協力をしてきました。早急に、実行ある対策を図らなければ、内燃機業界はもとより我が国の経済発展や地域経済への貢献などを担っていくことが困難になると予測されます。

こうした状況を踏まえ、運輸に関する業界活性化のため、国として前向きな施策をお願い致したく、質問及び要請事項をまとめましたので、今後の諸施策に取り入れて頂きます様お願い致します。

敬具